


 編集責任者
松本幸雄

マネジメントニュースが新しくなり、2回目の発行となりました。企業経営でお悩みの内容などありましたら、是非お寄せください！一緒に検討したいと思います！

経営戦略シリーズ2

「経営分析（SWOT分析）」

（1）経営分析の必要性

前回の内容で、会社のビジョン（夢）の必要性について説明しましたが、それを実現するにはどうすればいいのでしょうか？それは、自分の会社経営について分析を行い、会社の内部と外部について正しく知ることが有効です。それを、経営分析（SWOT分析）と言います。

その内容は、強み（会社の長所：STRENGTH）、弱み（会社の弱点：WEAKNESS）、機会（市場のチャンス：OPPORTUNITY）、脅威（市場の脅威：THREAT）の四項目について分析する事が効果的です。この英語の頭文字をとって、「SWOT（スウォト）分析」と呼びます。

（2）会社の強みと弱み（内部要因）

最初に会社内部について調べます。どんな会社でも他の会社に比べて長所があります。例えば技術力が高いとか、コスト競争力が強いとか、サービスのレベルが高いなどです。また、反対に会社の弱みもあると思います。例えば不良がいつまでたっても減少しないとか、クレームで損失金額が減らない、あるいは営業力がないなどです。

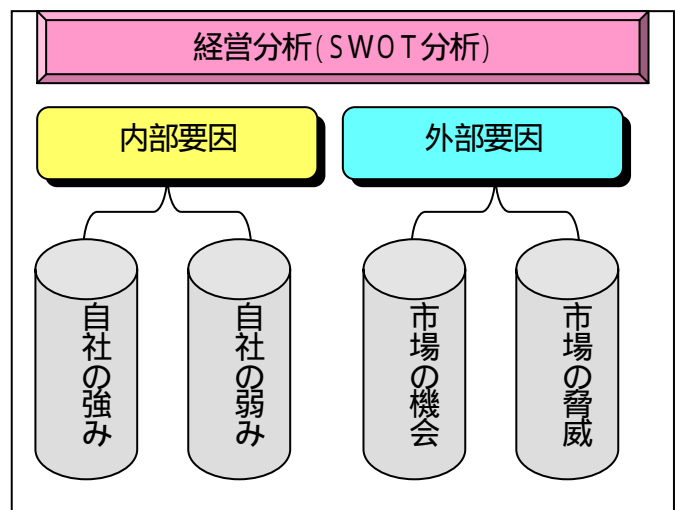
これらの、会社の強み及び弱みについて、経営者及び社員で色々と討議して、自分の会社はどうかを明らかにします。この時に、事前にお客様へのアンケートなどで、お客様からはどの様に見えるのか確認することも大変有効です。ぜひ、お勧めします。

（3）市場の機会と脅威（外部要因）

次に、外部要因についても調べます。最初に現在の市場における、仕事上のチャンスは何かを調べます。例えば、自動車産業の生産数が増加して部品の注文が増加する傾向にあるとか、中国から

の輸入で、原材料が安く手に入るなどです。次に市場での脅威となる要因についても調べます。例えば、自社の業界では規制緩和で新規参入がしやすくなり、競合の会社が増えそうだとか、少子化で若手新入社員の採用が難しくなってきたなどです。

以上の外部分析を実施することで、会社の正しい戦略を立案することが可能となってきますから、正しい情報を入手することが効果的です。



（4）事例

愛知県のある中堅建築会社の社長は、「うちの会社は昔から建築のデザイン力強いのだが、営業が弱いので最近売上高・利益率が下がってき困っているんですよ。」とっていました。そこで、私から実際に経営分析を実施して、それが正しいかどうか調べることを提案しました。

早速顧客アンケート等をとってお客様の評価を調査してみると、営業のこまめなサポートが一番高く評価をされており、反対に古くさいデザイン力が低い評価となっていました。この事で、以前は高い評価を得ていたデザイン力が、既に競争力を失い、反対に営業力が伸びていたのです。

マネジメントシステムの Q&A

このコーナーでは、マネジメントシステムに関する質問事項などを受け付けて回答します。
また、中小企業が抱えている問題点についても、解決できるヒントを考えて見たいと思います。

Q

ISOの運用について

昨年、ISO9001の取得をした製造業です。いままで実施していなかった記録の管理などが増えているため、社員より不満の声が出始めています。記録の必要性などを、社員にわかりやすく伝える方法は無いのでしょうか。

A

社員への教育を实践

ISOを取得した企業の中で、記録に対する社員からの不満の声は良く聞く話です。当然、今まで実施していなかった事への“挑戦”ですので、摩擦は付き物です。ただし、以下の2点については、もう一度検討してみる必要があります。

本当に、その記録が必要かどうかの見直し **記録の内容が、本当にISOで要求されているかどうかを見直して見ましょう。**

何のために記録を取るのかなど、社員の立場になって説明する **必要とされる記録を残すことが、自分たちの仕事を『より確実なものにしている』事を理解してもらいましょう。**

知って得する！パソコンマメ知識

このコーナーでは、今や仕事にはなくてはならないパソコンを、上手に活用するための情報をご提供します。

【第1回 シートカットキーを使いこなそう！】

ショートカットキーとは、マウスを使わずにキーボードを使って、パソコンを簡単に操作するための機能です。キーボードで文字を入力中に、いちいちマウスに手を伸ばすのは作業効率の低下となります。ショートカットキーを覚えて、一気に作業効率アップを！

キー操作	機能	キー操作	機能
[Ctrl] + C	選択したところをコピー	[Ctrl] + Z	操作の取消し(元に戻す)
[Ctrl] + V	カーソル位置に貼り付け	[Ctrl] + Y	操作のやり直し(取消しを取止める)
[Ctrl] + X	選択したところを削除	[Windows] + E	エクスプローラーを起動
[Ctrl] + S	ファイルの保存	[Windows] + D	開いているウィンドウを全て最小化

『[Ctrl] + C』とは、Ctrl(コントロール)キーを押しながら、キーボードの[C]キーを押す操作のことです。

中小企業流 ISOの使い方

「マニュアルは、あくまでも自社流がベスト」

品質マネジメントシステム(ISO9001)でも、環境マネジメントシステム(ISO14001)でも、基本となるのは各社で作成した「マニュアル」となります。

様々な企業様の「マニュアル」を拝見する機会が多くありますが、『これは必要な？』と思うようなものも多く見かけます。

例えば、「マニュアル」自体に規格の文言をそのまま記述している場合などです。

各社で作成する **マニュアルは、「規格」で要求されていることを、自社ではどのように実施するか**の“答え”が書かれていけば良いのです。

例えば、ISO9001の規格で「4.2.3 a : 発行前に、適切かどうかの観点から文書を承認する」とあれば、マニュアルには、「手順書は、発行前に管理責任者が内容を確認し承認する」といった内容でOKです。規格の文言を、繰り返しマニュアルに記述することは必要ありません。

これはほんの一例ですが、皆さんも自社のマニュアルを見直してみたいはいかがでしょうか。

㈱マネジメントセンターの業務内容

ISO9001 (品質マネジメントシステム) ISO14001 (環境マネジメントシステム)

ISO27001 (情報セキュリティマネジメントシステム) ISO22000 (食品安全マネジメントシステム)

プライバシーマーク (個人情報保護マネジメントシステム) 社員教育研修 (幹部社員教育) 経営戦略